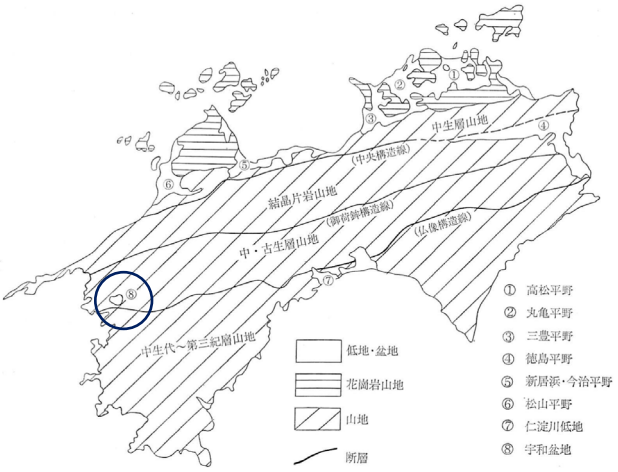
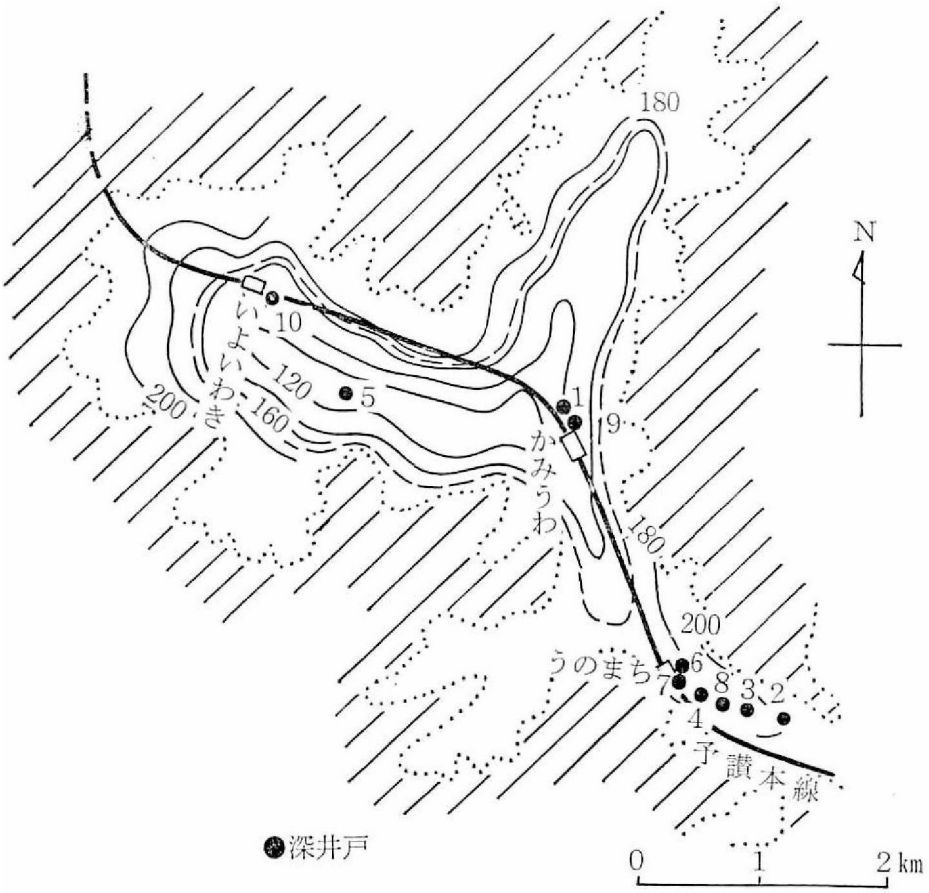
8.宇和盆地



地形・地質

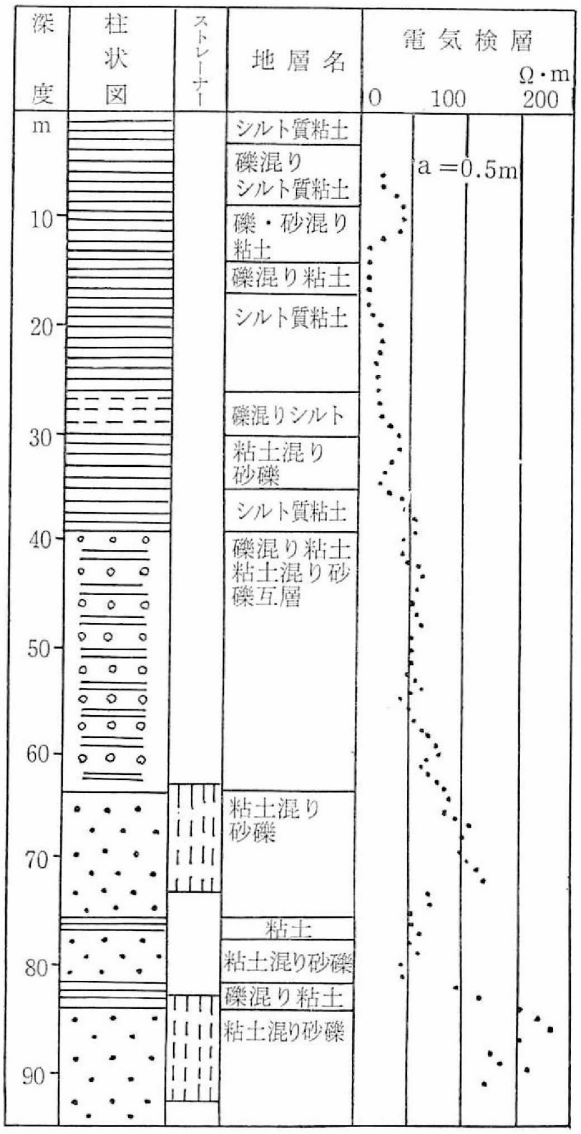
宇和盆地は肱川の最上流部に当たり，標高 800～600m の山地に囲まれた沖積盆地で，標高は約 200m です。盆地の地質はすべて第四紀層からなり，盆地の南端部にわずかに段丘が発達しています。



宇和盆地の基盤等深線図

地下水

帯水層は，盆地堆積物のうちの砂礫層で，特に下部砂礫層が有力な帯水層です。東山田や岩木など宇和川支流深川沿いの盆地中央部では，上部粘土層を貫くと自噴します。被圧地下水の水質は鉄分で汚染され，水処理を行わなければ飲用にできません。



試掘井-5 の柱状図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）